



漫録

道路景観



門澤技師に

其の後長崎國道は着々と工事が進んで居ります。現在では縣工事の方では大手橋の高欄と廣場の芝生地帯と舊國道の鋪装の一部とが残つて居り、直轄工事の方では徳蓮橋の高欄及び床版と其の取付道路の僅か一部とが今の處残つて居ります。大手橋と徳蓮橋の高欄は意匠が本年五月頃決まつたあの數多い石材の加工であり、然かも廣場の模様も三月に決まつたのですから道路用の石材の加工に追はれて居たので高欄の石材は之れからと云ふ處です。長崎中の石工

池本泰兒

及び呼ばれるだけの地方の石工を集めて晝夜兼行でやつて居ますが夫れでも九月一杯には六難しさうです。十月に入ればお諏訪様の大祭でせう。夫れ迄に仕上げなければならぬと氣が氣であります。夫れに三月迄の仕事が十月迄延びたんですから工費も不足勝になつて來ました。工期の方と工費の方とで毎日其の進捗歩合を見ながら苦慮して居ります。

中川橋と徳蓮橋との間の残つたトペカ式鋪装に就て、大倉土木が路床工が遅れたから契約を解除して呉れと申し六

た事があつたことは先便で申し上げましたが本所の方で具合よく話をつけて呉れましたものと見え又大倉土木の現場の方の御盡力に依つて八月一杯まで待たうと云ふことになり、更に會社は別に柳河とかで仕事があつたので人は全部其の方へ行つてゐますから、多少八月一杯よりも遅うして呉れる事になりました。夫れで今では他の舗装にするとか、或はプラント無しでやるとかの心配も無くなりまして。お蔭様で豫定通り舗装も済む事になります。

大變に仕事は延びたのですが、夫れでも天候は工事には随分と幸せを與へて呉れました。私の赴任以來殆んど雨で休むと云ふ日が無かつたんですから。仕事の遅れたのは私共の遣り方が悪かつたと云ふばかりです。然し人間業としては之れ以上は出来ないと確信して居ります。

工事は天候に恵まれたとは申しますものの本年の當地方の早魃は全く恐ろしい程のものです。稻田の龜裂も見ましたが、水田が干割れるなどは今までは早魃の形容詞かと思つて居たのですが、實際に之れを見せられるとほんとう

に驚かされます。丁度田が、新築家屋の荒壁の乾き切つた様な状態になつて居るのですからねえ。此の頃の新聞では砂漠の稻田などと云つて居ますが、其の様なのは私は未だ見ません。

佐世保市に私は住んで居ますが、水道は二日間に三時間給水です。然かも一杯のバケツに水を出すのに一時間もかゝる程しか出ません。其の水もお湯の様に温まつて居ます。お風呂なんて到底入れないのですが、夫れでも水の出居た頃のお風呂なぞ十分か二十分石炭二つ位で充分沸かせました。尤も夫れを沸し過ぎたらもう冷まし様がないのです。水を入れたつて殆んど冷めず、放置して置いた處で二時間や三時間で冷へないのです。子供等は水を呑みたりします。仕方がないので二日もくみ置きの水を沸して冷やして呑ませるのですが、夫で病氣になりませんから寧ろ不思議な程です。

水ばかりではありません。油照りなどと新聞には書いてありますが、太陽の強さ熱さ、も素晴らしいものです。水も

さう呑みもしないのに毛穴から汗が噴き出します。庭の土も灰の様になりました。石垣等の苔はすっかり枯てしましました。柳の木の葉も殆んど落ち盡しました。

ちよつと御想像もつきまします。處で佐世保市民は案外平氣で居ります。勿論騒いでも仕方が無いのですが、普通にやつて居ります。又私共もあたり前の氣もします。お互に話を仕合ふ時にはさも耐へられない様に話すのですが、其の割に感じないものです。

人間と云ふものは、或る程度の不自由を越すと寧ろ落ち付いて來るものと見えます。諦め得せうか。確かにどうにでもなれと云ふ氣持になるのだらうと思つて居ます。

佐世保國道の買收價格の發表は八月二十四日で丁度市民が此の様な氣分にある時にせられたことになりました。佐世保市は此の三四十年の間に素晴らしい發達をして來ました。現在の模様では將來どの位發達するか判らない状態にあります。又將來擴張し得る土地は、殆んどありません。僅かに急峻な山地の頂上附近が残つて居るばかりです。だ

から家屋には無鐵砲と思はれる程の權利金がついて賣買されて居る様な状態得せう。私共が現状に於ける價格に評價したものと折り合ふ事は六難しいのではないかと豫想されて居りました。

然し夫れが案外に速かに承諾が進んで居ります。勿論沿線の人が佐世保市民の熱望する市縦貫大幹線の實現のために犠牲的に承諾して居るのは確かなのですが、私だけの考へですけれど、此の水道の大斷水に遭つてゐる非常時の意識、もうどうでもなれと云ふ氣持が確かに影響して居ると思つて居ります。此の水道の大災難に最早百戰の氣勢を擧げる元氣も無いのだとも云へませう。

私はあの關東大震災の時上野公園に避難した際には、殆んど總ての自分の慾望を失なつた事を思ひ出します。命さへ要らないと思つた程です。此の水道の大斷水の打撃は平穩の様ですが意外に大きいと私は思つて居ります。

用地買收さへ無事に濟めば、工事は何の事もありませんから、佐世保國道は順潮に進捗するかも知れません。

處が私は大體順潮に用地買収は片着きつつあると思つて居りますが當地の新聞、夫れも大阪朝日の長崎版だの、又佐世保市發行の新聞だのには、沿道結束して補償費に反對御難續きの國道改修だとか、補償費引上運動起るとか、此の買収價格に沿道がとて反對して居る様に書きたてゝゐます。そして私は少しも話したことはないのですが、又全く知らないのに何時も主任は語るとか事務所は語るとして色々の談話が來つてゐます。全體の口調には多少の煽動的な處もある様です。

又斯く新聞に出るものですから 警察署の特高係の人も時々來て様子を聞いて行きます。或は私は知らないけれども反對の氣勢が起りつゝあるのかも知れません。又私にはどうして斯う新聞が反對を報導するかも判りません。

話は長崎國道に戻りますが、貴兄からお引續ぎを受けた馬町廣場の芝生地に入れる電柱二本ですが、私はてつきりお話が濟んで居るものと思つて建てさせたんですが、會社は未だに管理者から移轉の許可を受けて居なかつたのでし

た。

夫れで工事を中止させて知事に申請せしめる事にしました。縣は或は芝生地に建てしめることを許さないかも知れません。然し仕方があります。あそこは内務大臣の施工區間では無いのですから。私も若しあそこへ建てないで濟む方法が考へられれば夫れに越したことは無いと思つて居ります。

今日は此の位に致して置きます。又何かとお知らせ申し上げます。

何と云つてももう九月です。赴任當時から見れば風も涼しくなりました。次第にしのぎ良くなることと存じます。

土木試験所報告を得て

土木試験所報告第二十七號を私は長崎國道改良事務所宛で頂いた。之れを頂いた時の気分は私が土木局で勤務して居た頃其の配布を受けた時よりも嬉しさに非常な感動を受けた。之れを讀んで充分の理解の出來ない事は私としては恥しい事であるけれども吾等の土木試験所が着々として其

の研究を、立派な研究を發表されて行くことと云ふことは、私
は日本の土木技術者として非常に誇りに感ずるのである。

外國の事は勿論私は知らないし又六難しい、研究論文は
私にはすつかり了解出来ない事だからなまじつかの事は云
へない筈だけれども、あれ程研究論文が次々と發表され
て行くこと云ふ事は實際壯觀であると思ふ。

日本での土木技術の發表機關であれ程のものは、私とし
ては他に見る事は出来ない。外國にだつて之れ程の報告書
は減多にあるものでないと信ずる。

東京地下鐵の工事の初めに、會社では、獨逸人を招聘し
て居た。何しろ地下鐵と云ふものが吾が國で初めてであつ
たので經驗ある外國人を招いたのであらう。然し其の高額
な報酬に對して得られた經驗は幾らも無かつたと聞ゐてお
る。然も其の獨逸人は物部所長の理論に依つて計算せられ
た地下鐵構策の構造圖を其の儘本國に持つて歸へつて工學
博士の學位を得たと云ふ事を聞ゐた。總て私は又聞きだか
ら何處まで眞偽か知らないが、其の後獨逸の雜誌に東京地

下鐵の構策の横斷圖の出で居たのは見たことがある。獨逸
文は私は讀めないから其の論文が物部所長のものとは何處が
違ふかも云ふ事は出来ないが、何せか其の様な話を聞く事
だけでも非常に愉快だ。もう殆んど十年程前の話である。

私は現場へ來て現實に知つた事だが、此處の現場では碎
石や乳劑を用ひる前には夫れを直ぐ試験所に送つて試験し
て貰ふ。瀝青の試験をして貰ふ。又出來上がつた舗装は之
を切りとつて送つて試験して貰ふ。私の現場からお願ひし
ただのだけだつて相當の數である。之れを全國の直轄現場
から又各府縣からの試験して貰ふものを考へたら大變な數
になるだらうと思ふ。夫れに對して一々詳細な試験の結果
と尙丁寧な施工上の注意が書き添へられて居る。私は有難
い事だと思ふ一方、其の單調な無限にある程の材料試験を
せられる試験所の所員の方の努力を思ひ遣つた事である。

其の上に所報に掲載されて居られる様な大研究もせられ
て居る事を思ふと實際所員の方の精力と努力には自ら頭が
降がる。日本國民は土木技術に之れ程の才能がある。精力

があると云ふ事を知るだけでも私は鼓舞され力づけられる。

内務省土木局には直轄工事の年報が發行せられる。私は直轄工事に於て其の相當者が如何に努力され新規軸を考へ出され、研究を積まれて居るかを知つて居る。又其の研究を聞く毎に其の涙ぐましいまでの努力に敬意を表し力を受けて居る。然るに其の發行せられる年報と來たら其の悪文と共に夫れから何を知る事が出来るかと云ひたい様なものである。

年報と云ふのが其の性質から當然斯くなるものであるかも知れない。夫れであつたら更に工事に對する研究とか、特殊工法のものとかに對しての報告と云ふ様なものが發表せられる事になればいゝと思ふ。

土木學會誌もあり又各種の技術雜誌があると云ふかも知れない。然し夫れには個人的の發表として出され、ばいゝのであつて、直轄工事として國が其の報告を出される事は意義のある事だと私は信ずる。東京土木出張所では其の年

報に出されない研究を集めて既に二回報告を出されて居る。土木局として出來なくても出張所として出來るものなら夫れでもいい。私は東京土木出張所の企をいゝ事だと思つて居る。然かも東京土木出張所のもので、春木技師の研究に眞田博士が數行の追記をせられて居る處などを見た時非常に嬉しく思つた事だ。此の細い心遣いが、其の論文を活かせ、又讀ましめる力にもなる。

今日の土木試験所は實際押しも押されもしない堂々たる立派なものになつた。初めは道路試験所として計畫せられたものだと聞ひて居たが今では其の名前の様に土木百般のものゝ試験所又は研究所になつた。日本唯一のものゝ云ふよりも世界有數のものとも云へやう。道路試験所が土木試験所になつた事を創立の趣旨に反すると云ふ話も聞くけれども私は此の變化はいゝと思つて居る。國立のものとしてなら之れでなければならぬと思ふ。

牧博士が土木試験所の創立の要を説いて初代所長となられた頃、あの震災前の内務省の二階の一室に假事務所を置

かれて居た頃私は牧博士にお會ひしたのだが、丁度試験機械の購入に外國へ行かれて歸朝せられた直後だつた。震災の年だと思ふ。

何せ豫算の少ないのに其の設備を整へなければならなかつた博士の御盡力は大したものだつた。機械費のためには極度に人件費を節減せられた。夫れでも事務所は二階建だつたが之れも織ぎ足しの出来る様にせられ、又敷地も將來擴張の出来る様にせられて居た事など實に先見の明あるものと感ずる處のものだ。今日では物部博士の御盡力に依り總て其の通りになつてゐる。赤羽にも分所が出来たのだから或は豫想以上に大きくなつて居るとも云へる。

牧博士の時代に一通りの整備は出来て居た。二代目の牧野所長の時代には着々と道路試験が進められた。所報第一號の出たのも牧野所長の時代である。礫石舗装も此の時に考案せられ試験せられた。次第に金輪の車輛が減じて來たから今日では混凝土舗装が之れに代つて出来初めたけれども其の混凝土舗装材料は無限にある國産品であり、雨の多

い日本の季候にも適してゐるセメント使用の舗装が今日の隆盛になつたのは、どうしても牧野所長の功績であると思ふ。

混凝土舗装は未だ未だ研究の餘地がある。あの眼障りな目地を廢すること、硬化熱に依つて龜裂の生じない事、安價にあの強い日光の反射を防ぐことなどちよつと考へただけでも相當澤山の問題が殘されてゐる。又この様な問題になればセメントの製法に就ての研究かも知れないが、舗装用セメントとしては其處まで行かなければならないものだと思ふ。

尙牧野所長の頃には所報の他に毎週一日所員の研究發表會があつた。誘はるる儘に、私は毎回出席して其のお話を聞いた。憶面もなく自分の無知をさらけだして色々と質問もさして貰つたが私としては随分之れに依つて澤山の智識を得たものだ。高級セメントのお話も聞いた。舗装版の荷重分布のお話も聞いた。

物部所長の時代になつてからは財政緊縮の時期になつた

ので、屢々其の廢止説も出たのであるが、博士は其の必要を説かれて頑として引かれなかつた。技術者のうちにさへ其の要不要を考へる人も無かつたとも云へない。然し博士は絶對に日本土木技術の向上のために此の存續の如何に必要なるかを確信して居られた。直轄工事の地方移管説が起つて代表的全日本の土木技術者が一堂に集まつた事があつたが、其の節博士が土木試験所の必要を述べられた演説は實際熱其のものだつた。其の熱意と其の確信とは私の今迄

技術の神聖を述ぶる言葉では聞ゐた事が無かつた。舌端火を噴くと云ふのは之れかと思つた事だつた。

今日の土木試験所は其の基礎も確立せられ内容も充實して來た。將來の事は私は云ふ事は出来ないけれども、今日以上の光輝ある成績を擧げる事は出来るかどうかと思ふ。道路方面にしても西川技師、藤井博士、山田技師等につて見事な研究が完成しつゝある。私は今日の隆盛に祝意を表し、並ならぬ御努力に敬意を表すものである。

東海道視察旅行案内記 (一)

はしがき

此案内記は東海道視察旅行延期せられたので同旅行施行の際には別に作成するから参考にもと本誌にかゝることとした。

(H 生)

大昔の業平朝臣の東下りはともかく徳川將軍の上落、西國諸藩主參勤の道筋である東海道は五十三次の宿驛があつて世に囃し立てられた街道である。然るに東海道鐵道の敷設に依つて漸く其價値を減じ地方色を帯び來つて殆んど荒